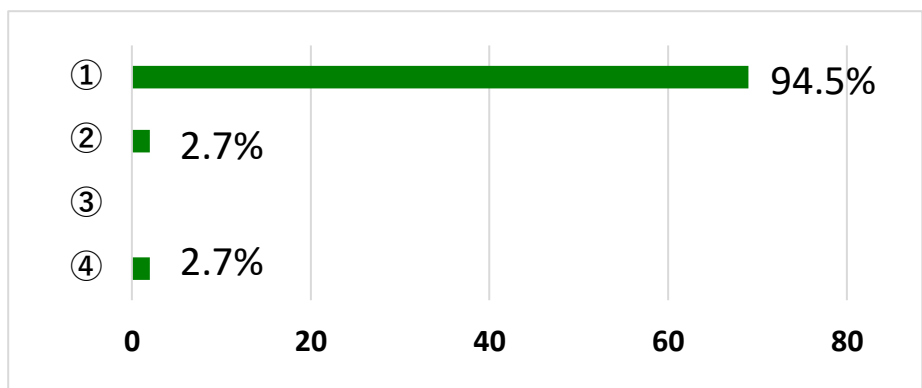


令和5年就職慣行等に関するアンケート調査（一人一社制について）（学校関係者）

【調査概要】

- ◆対象者 : 就職希望者が一定数以上の千葉県内高等学校の進路指導主事及び進路指導就職担当
- ◆回答者数 : 73人

学校関係者の立場として、「一人一社制」についてどのように考えるか	
① 現行の制度のままでよい。	69人
② 初めから2社応募できた方がよい	2人
③ 9月中から卒業まで制限無く応募できた方がよい	0人
④ その他	2人



※グラフの合計は四捨五入の関係で100%になっていません。

- ・①の現行の一人一社制を支持する意見が約94%となりました。
9月当初から複数応募可とした場合の、就職活動の長期化による学業への影響や内定辞退による企業との関係悪化を懸念する意見が多くありました。
- ・企業からのアンケート結果と同様に、応募方法だけではなく、事前の会社見学等を重要視する意見もいただいています。
- ◆下記に、いただきましたご意見から抜粋して記載しております。

① 選択理由

〈メリット〉

- ・生徒にとって1社だけでも応募書類作成、企業研究、面接練習と、学業の両立には負担が大きくなるため一人一社が望ましい
- ・複数社内定した生徒の内定辞退で、企業との信頼関係が崩れることを防ぐことができる。
- ・複数社受験を可能にすることで倍率が上がり、1回目の選考で不合格者が増え就職活動が長期化してしまうため
- ・最初から複数応募にすると、内定を複数得る生徒と内定がもらえない生徒と二極化する。

〈デメリット〉

- ・生徒が応募先を1社に絞り切れない場合がある。
- ・第2希望以降の企業に応募でき、複数応募の方が安心はある。
- ・結果が出るのに時間がかかる場合に、結果を待っていると次の応募ができなくなる。

② 選択理由

〈メリット〉

- ・第2希望以降の企業に応募でき、生徒が安心できる。

〈デメリット〉

- ・複数応募可とすると、内定を複数得る生徒と内定がもらえない生徒と二極化する。
- ・応募書類作成、企業研究、面接練習と、学業の両立には負担が大きく負担になる。

④ 選択理由

- ・学校からの推薦を得たい生徒は、今まで通り一人一社とし、9月中から複数社を受けたい生徒は、学校からの推薦は受けず、安定所の支援を受け就職活動を進める。10月以降は現行のままでよい
- ・複数受けるかどうかばかり目を向けているが、高校生は応募する前に見学を実施している。
現状の9月5日応募の日程では、お盆に休業する企業が多く、見学できるのは実質お盆前までで、夏休み期間に複数見学をするのは日程的に無理である。応募期間を1か月程度遅らせ（2020年のように）夏休みいっぱいを見学に使えるようになれば、複数見学した中から応募ができる。見学した中から1社選ぶのであれば、問題はないのではないか。文科省・厚労省ともにこの日程は自分のところで決めたのではないというスタンスでいるようだが、応募と試験解禁の日程を1か月程度後ろにずらすことが最も有効だと考える。